

健全化判断比率などの状況

「健全化判断比率」って？

市の財政状況を客観的に表した指標で、数値やその推移を見ることで、早めに財政の問題に気づき、必要な対策を取ることができます。

府中市は前年度までと同じく、全ての指標において基準をクリアしています。また、市が行っている下水道事業や病院事業に関しても、資金不足の状況はありません。

市の財政状況は **健全** です！

指標名	R6年度	R7年度	健全化基準
実質赤字比率 主な行政サービス会計の赤字の程度 一般会計などの実質赤字の比率	赤字なし	赤字なし	13.01%
連結実質赤字比率 市の会計全体の赤字の程度 全会計の実質赤字の比率	赤字なし	赤字なし	18.01%
実質公債費比率 毎年の借金返済の重さ 一般会計などが負担する公債費(借入返済)の収入に占める割合	6.4%	5.4% (改善)	25.0%
将来負担比率 将来に残る負担の程度 一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の収入に対する割合	39.1%	23.3% (改善)	350.0%
資金不足比率 公営企業の経営健全度 公営企業会計(下水道事業・病院事業)ごとの資金不足の規模を示した比率	資金不足なし	資金不足なし	20.0%

府中市財政の現在地

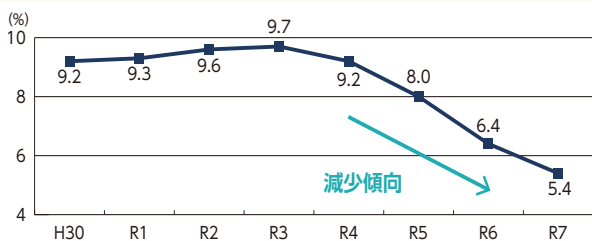
市の財政は今どうなっている？

令和7年度決算では、これまでの事業見直しの取り組みが実を結び、財政状況の改善が数字にも表れています。健全化判断比率は、引き続き全ての指標で基準をクリアし、かつ前年度の値を上回る改善が見られました。

また、市の貯金にあたる「財政調整基金」も減少傾向から回復し、前年度に比べて約4.4億円増え、令和7年度の残高は約19.4億円となりました。

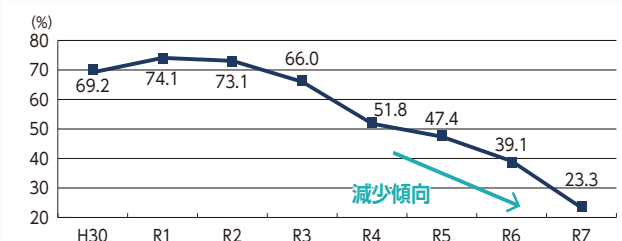
実質公債費比率

低いほど良好であり、毎年の借金返済の重さが改善しています。 ※令和6年県内市町平均7.1%



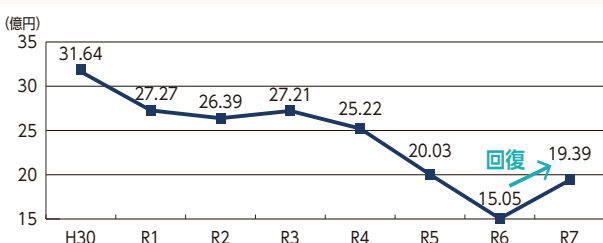
将来負担比率

低いほど良好であり、将来世代に残る負担の程度が改善しています。 ※令和6年県内市町平均71.3%



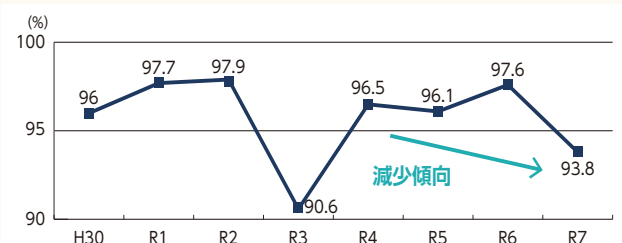
財政調整基金

いざという時に備えた貯金であり、一定の残高確保が重要です。



経常収支比率

低いほど余力があり、財政の柔軟性が増しています。 ※令和6年県内市町平均94.5%



市民の皆さんへ

市民の皆さんにはご心配をおかけしておりますが、市の財政状況は着実に改善へと向かっています。この改善の歩みを一過性のものとしなため、見直すべきものは見直しながら、市の未来のために必要と考える事業については、しっかりと投資を行ってまいります。併せて、分かりやすい情報発信にも努めてまいりますので、今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。